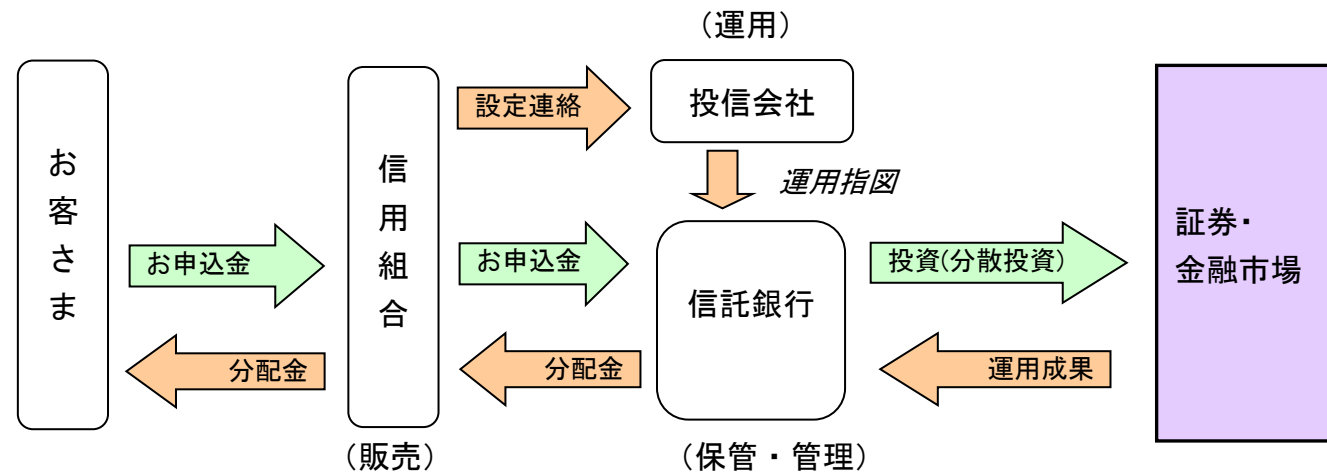


## 《投資信託の仕組み（預金との違い）》

- (1) 投資信託は、預金ではありません。
- (2) 投資信託は、預金保険の対象ではありません。
- (3) 投資信託は、預金と異なり元本および利回りの保証はありません。
- (4) 当信用組合は、ご購入・ご換金のお申込みについて取扱いを行っております。投資信託の設定・運用は運用会社が行います。
- (5) 当信用組合でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- (6) 投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただいたお客さまに帰属します。
- (7) 投資信託のご購入に際しては、必ず最新の「目論見書」をお渡しますので、商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- (8) 投資信託は、組入れ有価証券(株式・債券等)等の価格変動や金利の変動などにより、基準価額が下落して投資元本を割り込むことがあります。
- (9) 投資信託は、組入れ有価証券(株式・債券等)等の発行者の信用状態の変化等により、基準価額が下落して投資元本を割り込むことがあります。
- (10) 外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価額変動(為替変動リスク)により、基準価額が下落して投資元本を割り込むことがあります。

### 投資信託とは？

多くのお客さま(投資家)の資金を集め、資金運用の専門家が株式や債券、不動産投資信託などに分散投資し、投資家はその運用成果を享受する仕組みです。ただし、運用成果がマイナスとなる場合があります。



## 《基準価額について》

### ○ 基準価額とは何ですか？

- ・ 基準価額とは、投資信託の購入あるいは換金をするときに基準となる値段のことです。
- ・ 株式の取引価格を株価といい、毎日の取引最終価格が新聞などで公表されていますが、投資信託の基準価額も毎日、日経新聞などに掲載されています。
- ・ 株価は通常、1株あたりの値段で表示されます。株価が1,000円ならば、1株が1,000円ですから、1,000株買えば100万円が必要です。これに加えて、買い付けの手数料と、手数料に対する消費税がかかります。
- ・ 株式投資での株数にあたるものを、投資信託では口数といいます。
- ・ 投資信託の基準価額は、通常1万口あたりのお値段で表示されます。ですから基準価額が12,000円のファンドを100万口ご購入になれば、120万円が必要になります。これに加えて、買い付けの手数料と、手数料に対する消費税がかかります。

### ○ 基準価額とは、どうやって計算されていますか？

基準価額は、まずその投資信託が保有する株式や債券等の有価証券や短期金融商品、現金などすべての資産を時価で評価します。そこから、まだ支払っていない代金、費用などのマイナスの項目を引いて、投資信託の純資産を計算します。それを投資家が持つすべての口数で割って計算し、1万口あたりで表示されます。

### ○ いつの基準価額で購入できますか？

- ・ 新聞等に掲載されている基準価額は前日のもので、ご購入をお申し込みいただいた時点では、実際にお取引いただく基準価額はまだ決まっていません。
- ・ 国内資産のみを組み入れるファンドではお申し込みの当日の夕刻、海外資産を組み入れるファンドでは翌日、あるいは翌々日の夕刻に計算される基準価額が適用されます。これは、既に分かっている値段で注文ができると、既にこのファンドに投資している人の利益が害されることがあるからです。海外資産組み入れファンドは、組み入れ資産の取引が時差の影響を受けることが、基準価額算出で考慮されます。

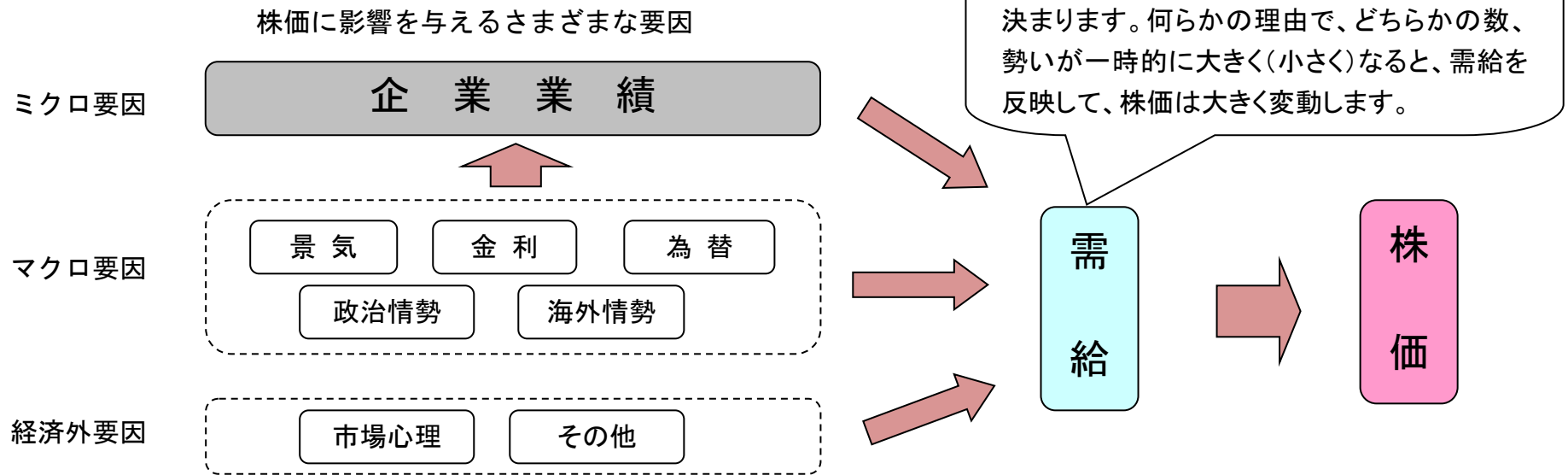
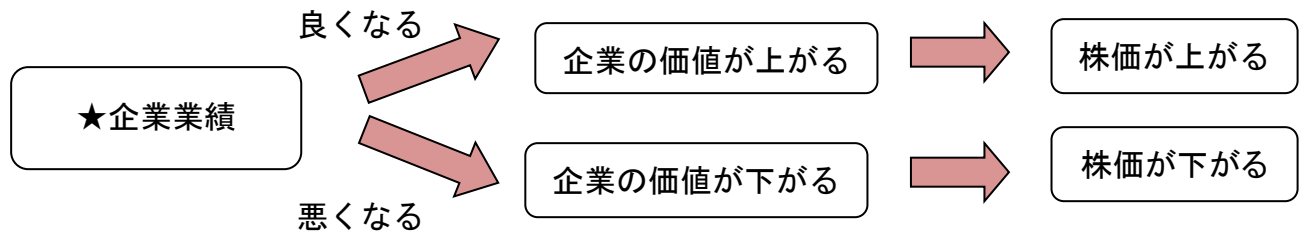
## 《分配金について》

○ 分配金が多くて、しかも毎月分配される投資信託のほうが、オトクですよね？

- ・ ファンドの良し悪しは、分配金が支払われる額、頻度では決められません。
- ・ 分配金は、運用の成果を投資家に支払うものですが、各投資信託にはそれぞれの分配方針があります。
- ・ 運用成果の大部分を分配する投資信託や、極力分配は抑えて中長期の成長を目指す投資信託もありますし、頻度も毎月、隔月、四半期、半年毎、年1回などさまざまです。
  
- ・ まずは、その投資信託の分配方針が、お客さまの投資目的にあっているかを検討してください。
- ・ 毎月あるいは隔月の分配金を生活の足しにしたいとか、大きな分配金が出た時には旅行など少し贅沢したい、当面お金を使う予定がないので長い時間をかけて投資金額を大きく増やしたい、短期でも利益が出ればすぐに売却して利益を確定したいなど、いろいろと考えられます。
  
- ・ そして、これはとても大事なことです。分配実績はあくまで過去の実績であり、これからもずっと同じ分配金が支払われるかどうかは分かりません。投資環境が悪くなり運用実績が落ちれば分配額が減る、または全く分配されないこともありますので、預貯金のお利息のように約束されたものではないことをご理解ください。
  
- ・ また、分配金は支払われた額だけ基準価額を引き下げる要因となりますので、投資されている口数は変わりませんが、投資金額はそれだけ少なくなります。つまり、投資資金の一部を投資家が途中で回収しているということです。投資資金の一部を途中で回収するということは、値上がり局面での複利効果が薄まってしまうということになりますから、必ずしも「オトク」ということではありません。
  
- ・ その他、お客さまの個別元本を、分配落ち後の基準価額が上回っている場合は、課税の対象となることをご留意ください。

# 《株式投資のリスク》

● 株価は、中長期的には個別企業の将来の収益や財務内容を反映した企業価値で形成されますが、市場全体の値動き、景気、政治情勢、海外情勢など様々な要因によって、時に大きく変動します。



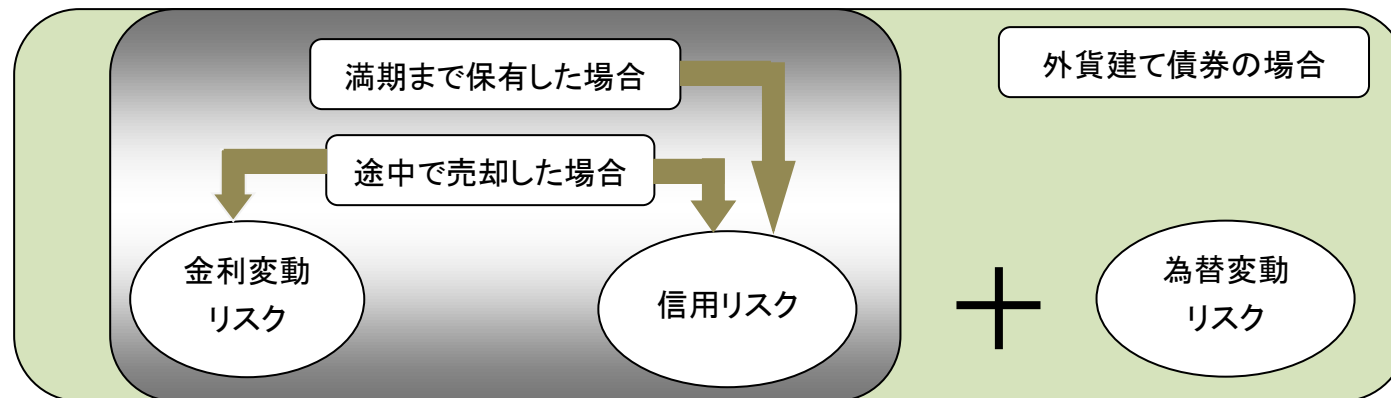
## 《株式を組み入れた投資信託の基準価額が変動する一般的要因》

	ケース	市場への影響	基準価額
景 気	良くなる	プラス	➔
	悪くなる	マイナス	➡
企業業績	良くなる	プラス	➔
	悪くなる	マイナス	➡
需 給	買いが優勢	プラス	➔
	売りが優勢	マイナス	➡
金 利	低くなる	プラス	➔
	高くなる	マイナス	➡
海外株式市場	上昇	プラス	➔
	下落	マイナス	➡

(注)上図はイメージ図です。他の変動要因もあります。また、上記のケース、市場への影響、基準価額は一般的なものを示しており、必ずしも上記どおりにならない場合もあります。

## 《債券投資のリスク》

債券価格は次のようなリスクによって変動します。



### ① 金利変動リスク

債券を満期まで持たずに途中換金する場合は、市場価格(時価)での売却となりますので、市場価格の変化によって購入価格を下回る場合があります。特に満期までの期間が長い債券ほど、市場価格の変動幅が大きくなる傾向があります。一般に金利が上昇すると債券価格は下落します。

### ② 信用リスク

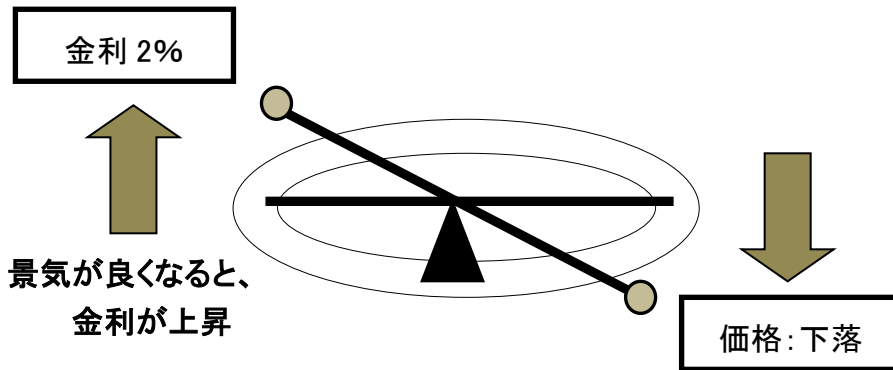
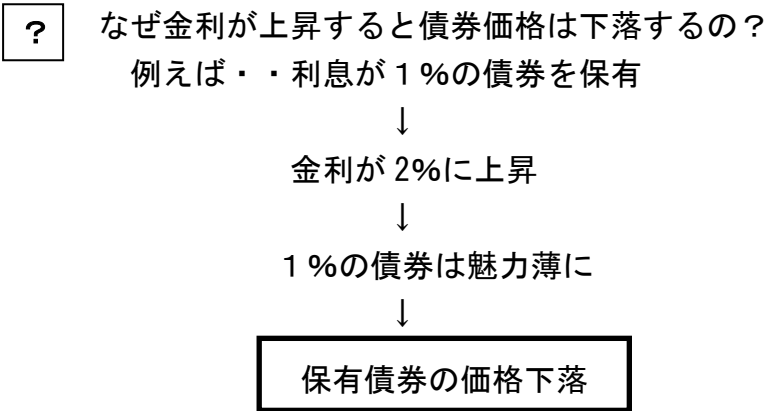
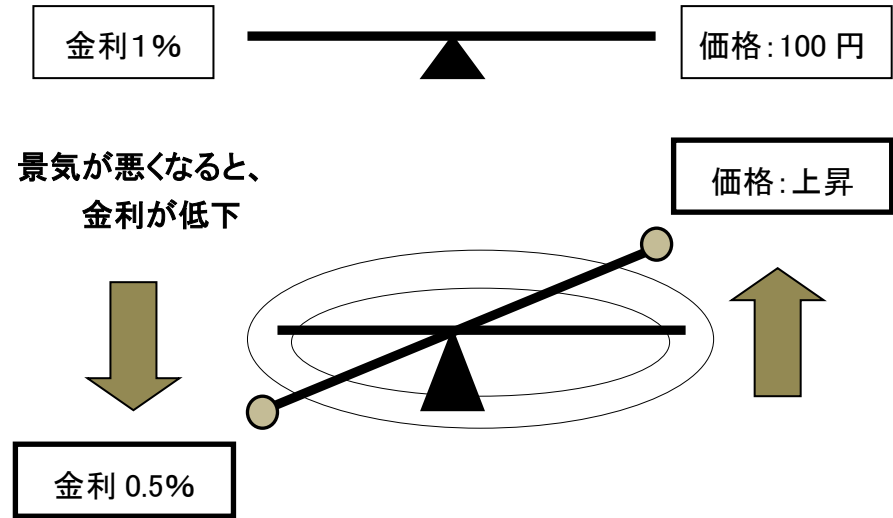
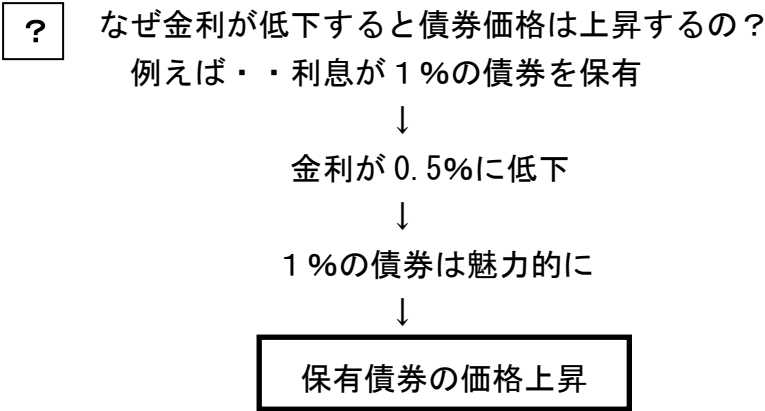
元本や利息の支払いが滞ったり、支払い不能のおそれが生じたとき、市場価格が下落し購入価格を下回る場合があります。また、支払い不能に陥った際には、元本が償還されない、あるいは全く償還されない場合もあります。

### ③ 為替変動リスク

外貨建て債券の場合、円を外貨に交換して購入するので、購入時に比べて円高・外貨安になれば為替差損が発生し、購入価格を下回る場合があります。

# 《債券投資のリスク① ～ 金利変動リスク ～》

●債券の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。



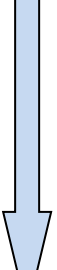
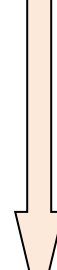


## 《債券投資のリスク② ～ 信用リスク ～》

●債券の価格は、発行体の信用状況によって変動します。

発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合、またはできなくなることが予想される場合には、債券の価格は大きく下落します。

元本が償還されるかどうか、利息が約束どおり支払われるかどうかの目安をチェックする方法として「格付け」があります。

	信用度	利回り	Moody' s	S&P R&I/JCR	元利金支払いの確実性 ※R&Iによる評価基準
投資 適格 格付	高い 	低い 	Aaa	AAA	最も確実性が高い
			Aa	AA	確実性はかなり高い
			A	A	確実性は高い
			Baa	BBB	確実性は平均値
投機 的 格付	低い 	高い 	Ba	BB	当面問題はないが将来に不安
			B	B	確実性に問題がある
			Caa	CCC	債務不履行になる可能性がある
			Ca	CC	債務不履行の可能性が大きい
			C	C	債務不履行の可能性が非常に大きい
※	低い	高い	D	D	債務不履行に陥っている

- ・ Moody' s : ムーディーズ
- ・ S&P : スタンダード&プアーズ
- ・ R&I : 格付投資情報センター
- ・ JCR : 日本格付研究所

債券を発行した発行体の財政状況が悪くなると、最悪のケースでは、元本や利息が支払われなくなる可能性があります。これを「デフォルト」(＝債務不履行)といいます。

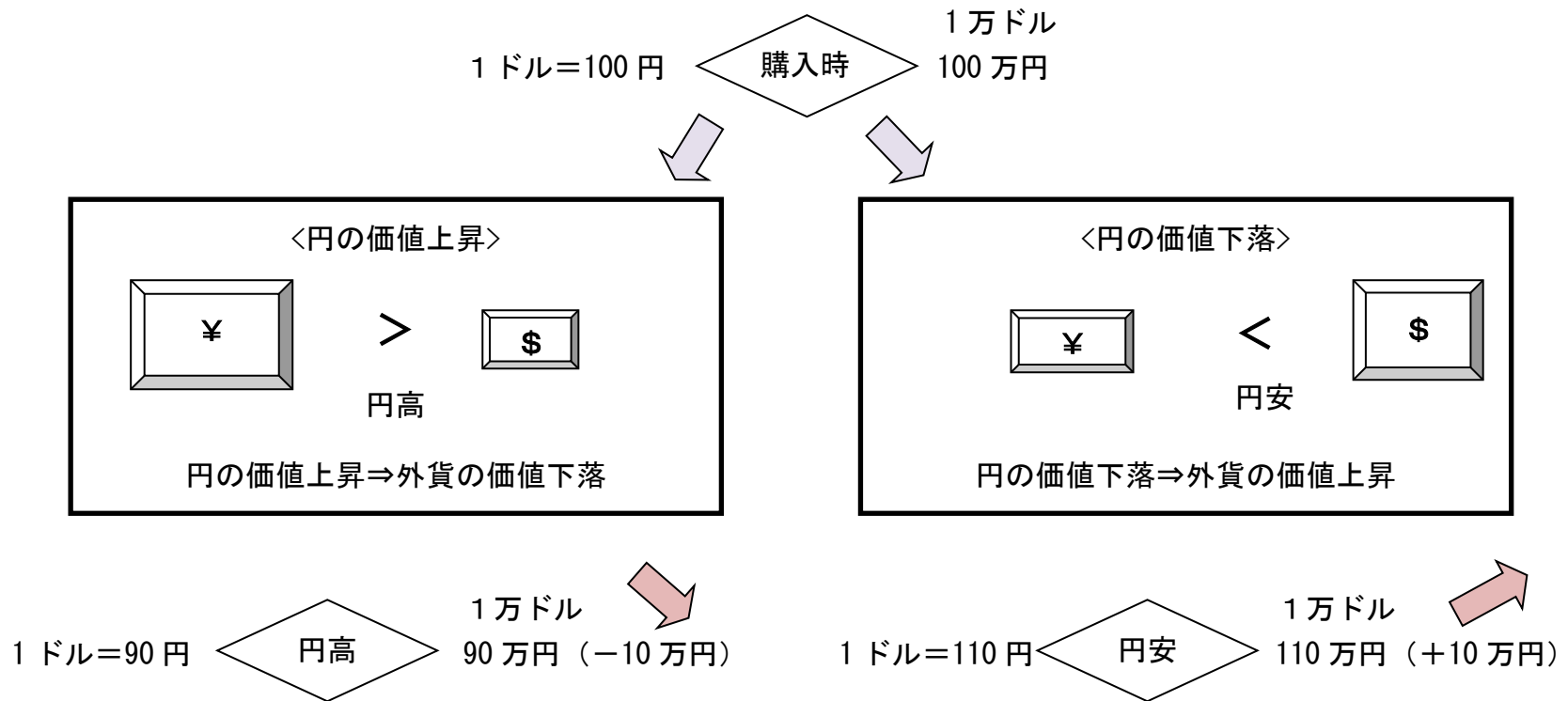
※ ハイ・イールド債やジャンク債と呼ばれることもあります。



### 《債券投資のリスク③ ～ 為替変動リスク ～》

- 外貨建て債券の円換算価格は、為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。  
為替レートが円高方向に進んだ場合には、投資元本を割り込むことがあります。

例えば・・・1ドル=100円の時、1万ドル投資した場合



(注) 上記は元本のみの変動で、クーポン部分を考慮しておりません。また、手数料・税金等費用を考慮しておりません。

## 《債券を組み入れた投資信託の基準価額が変動する一般的要因》

	ケース	市場への影響	基準価額
景 気	悪くなる	プラス	↗
	良くなる	マイナス	↘
金 利	低くなる	プラス	↗
	高くなる	マイナス	↘
物 価	下落	プラス	↗
	上昇	マイナス	↘

(注)上図はイメージ図です。他の変動要因もあります。また、上記のケース、市場への影響、基準価額は一般的なものを示しており、必ずしも上記どおりにならない場合もあります。

# 《REITのリスク》

●REITの市場価格や分配金は、不動産の賃料収入をはじめ、さまざまな要因により変動します。

価格変動リスク

REITが保有する不動産の価値や不動産から得られる収入は、国内外の景気、経済、社会情勢等の変化などにより変動するため、REITの価値や分配金が下落する可能性があります。また、海外REITの場合、為替レートの影響を受けます。

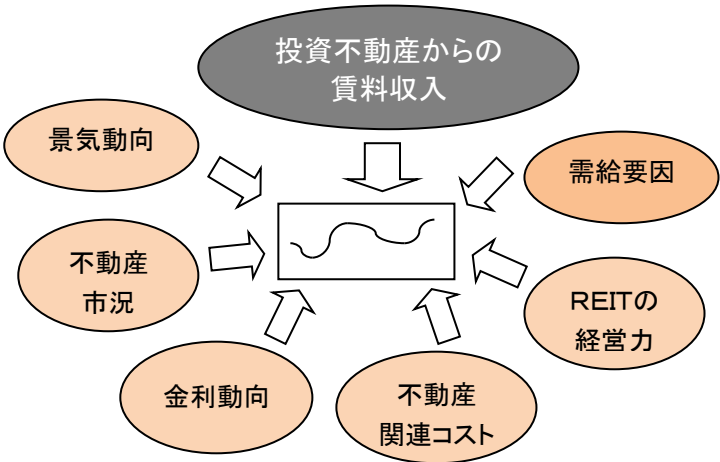
為替変動リスク

信用リスク

REITは、一般の法人と同様に倒産のリスクがあります。また、信用状況が悪化した場合などには、価格が著しく下落する要因となります。

金利変動リスク

借り入れを行うREITにおいては、金利負担の増大により収益性が悪化し、REITの価格や分配金が下落する可能性があります。また、REITはその分配金の高さから利回り商品としての性格を持っています。従って、一般金利が上昇した場合、相対的に投資対象としての魅力が低下する可能性があります。



テナント移動等によるリスク

REITの収益は、保有する不動産等の賃料の下落、テナントの解約に伴う空室の発生による賃料収入の減少および投資対象不動産に関する費用の増大等により減少することがあり、この場合、REITの価格や分配金が下落する可能性があります。

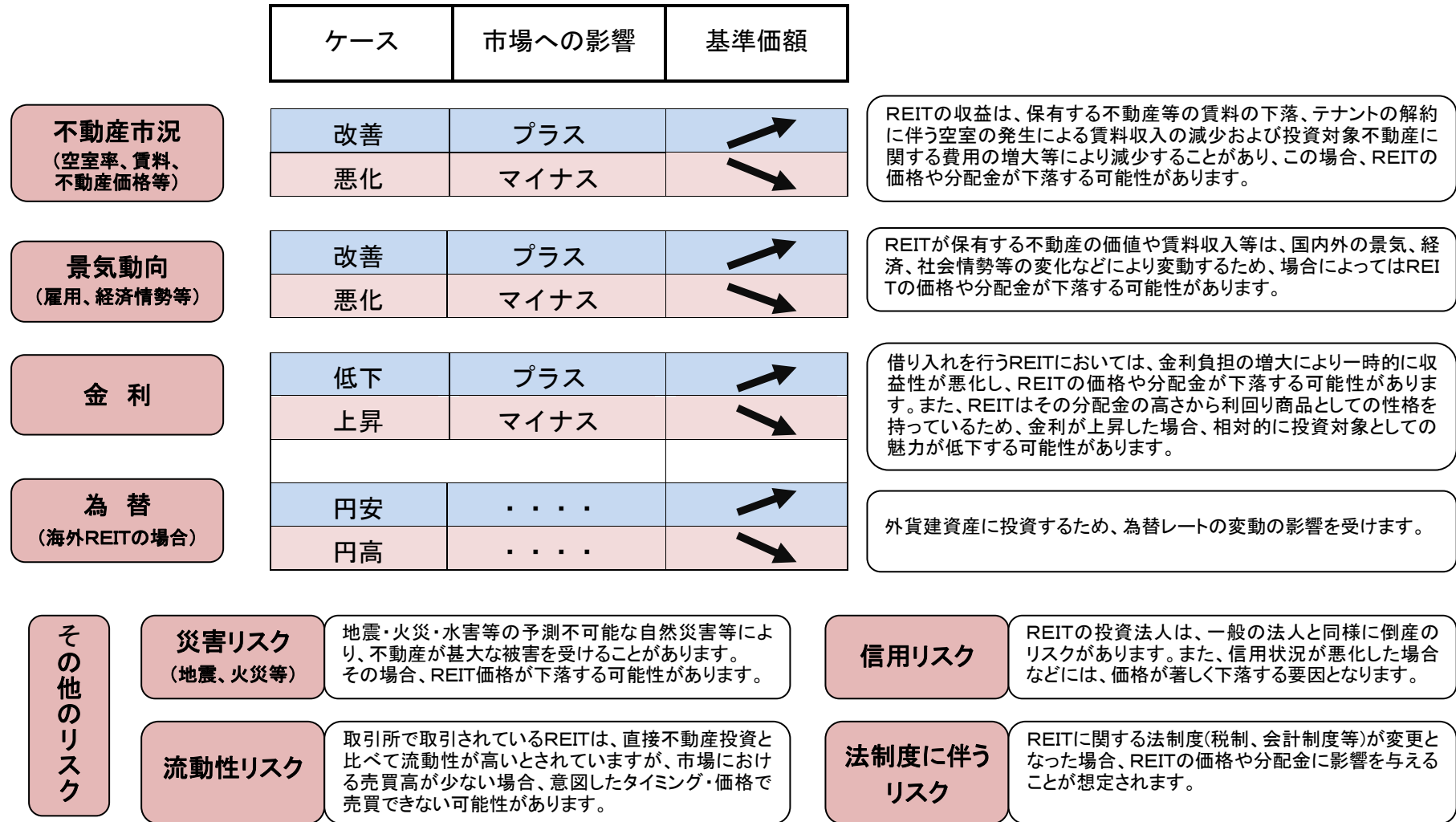
流動性リスク

REITは、証券取引所で取引されているため、不動産直接投資と比べて流動性が高いとされていますが、市場における売買高が少ない場合、意図したタイミングで価格で売買できない可能性があります。

自然災害等によるリスク

REITは、不動産を投資対象としているため、火災、地震、水害等の自然災害により被害を受けることがあります。その場合、REITの価格や分配金が下落する可能性があります。

## 《REITを組み入れた投資信託の基準価額が変動する一般的要因》



(注) 上図はイメージ図です。他の変動要因もあります。また、上記のケース、市場への影響、基準価額は一般的なものを示しており、必ずしも上記どおりにならない場合もあります。

## 《為替変動のリスク》

### 経済状況

各国の経済状況は為替変動の1つの要因です。経済状況を把握する指標としては、国際収支・経済成長率・金利・失業率・物価などがあげられます。

### 需給のバランス

需要と供給のバランスが崩れると通貨の価格が変動します。これは為替レートに限らず、さまざまな価格は、需給関係のバランスで決まります。

### その他

その他に、政治の安定性、国の格付け、株価、経済政策(通貨政策)、戦争、テロ、投機取引、などさまざまな事象が為替を動かす要因となります。

## 《為替の決定要因》

●為替レートは、下記のようなさまざまな事象が複雑に絡み合っ形成されます。

	通貨高要因		通貨安要因	
景気	好況	経済が好調な場合には、海外からの資金流入が大きくなりやすく、通貨高の要因となります。	不況	経済が低迷している場合には、海外への資金流出が起きやすくなり、通貨安の要因となります。
失業率	低下	雇用環境の改善は、景気が上向いていることを示しています。	上昇	雇用環境の悪化は、景気が悪化していることを示しています。
貿易収支	黒字	輸出増を表し、通貨高の要因となります。	赤字	輸出減を表し、通貨安の要因となります。
GDP成長率	高い	GDP成長率の伸び率が高い場合には、景気が好調であることを表しています。	低い	GDP成長率の伸び率が低い場合には、景気が減速を表しています。

	通貨高要因		通貨安要因	
金利	上昇	金利が上昇すると、その金利を目当てに資金が集まり通貨高になります。	低下	通常、金利が高い国の通貨に資金がシフトしますので、通貨安になります。
政局	安定	政局の安定は、その通貨の新任や経済にプラスの影響を与えます。	不安定	政局の不安定・不透明さは、その通貨にマイナスの影響を与えます。
戦争・紛争	改善	当事国・周辺国の政治・経済が落ち着きを取り戻すことが通貨高の要因となります。	悪化	当事国・周辺国の政治・経済に大きな混乱を招くことになり、通貨安の要因となります。

## 《投資信託の基準価額が変動する一般的要因 ～ 為替(円) ～》

	ケース	市場への影響	基準価額
景 気	悪くなる	円安	↑
	良くなる	円高	↓
金 利	円金利が低くなる	円安	↑
	円金利が高くなる	円高	↓
貿 易	赤字	円安	↑
	黒字	円高	↓
介 入	円売り外貨買い	円安	↑
	円買い外貨売り	円高	↓
国内政治	不安定	円安	↑
	安定	円高	↓

(注) 上図はイメージ図です。他の変動要因もあります。また、上記のケース、市場への影響、基準価額は一般的なものを示しており、必ずしも上記どおりにならない場合もあります。

(注) 上図は為替面からみたイメージであり、基準価額は組み入れている資産によって異なる動きをする場合があります。